

第4回大宮区区民会議 会議録

- 1 日 時 平成29年9月22日（金）10時00分～12時00分
- 2 会 場 大宮区役所1階多目的室
- 3 出席者 20名

（委員）13名

花俣淳一会長、池上明彦副会長、横山千恵子副会長

新井陽子委員、井上恵美子委員、大野敏子委員、齋藤泰雄委員、仙石玲委員、
田代秀一委員、登坂篤委員、藤田信一委員、松岡忠男委員、村上隆子委員

（欠席委員）5名

小倉京子委員、廣澤宣明委員、武田千春委員、星野美子委員、松本よしの委員

（オブザーバー）1名

大野（副区長）

（事務局）4名

白石（コミュニティ課長）

池羽、佐伯、加藤（コミュニティ課）

（コンサルタント）2名

植田、白木（(株)社会構想研究所）

4 内 容

（1）開会

（2）協議事項

①第8期区民会議協議テーマについて

（3）報告事項

①区民会議だよりの発行について

②2017大宮区民ふれあいフェアへの参加について

（4）閉会

5 議事内容

区民会議として知っておく必要のあること

第3回の協議の中で、「区民会議委員も大宮区について知らないことが多い」、「自分の住んでいる地域や関心のある事柄以外の大宮区についての知識が少ない」という意見が出たことを踏まえ、第4回区民会議では、第3回の協議結果の振り返りをおこなった後、協議テーマを決定する上で、知っておく必要があることは何なのかということについて協議をおこなった。

【協議内容】

区民会議のテーマについて（第3回会議の振り返り）

①「大宮区ブランド」再発見

- ◆ 大宮宿などの歴史的な標識を設置する
- ◆ 大宮ナポリタンの活用方法を考える
- ◆ さいたま国際芸術祭に区民としてアクションをおこなう

②うるおいのある生活基盤整備

- ◆ 大宮公園の活用・スタジアム等運動施設の再開発
- ◆ 大宮駅グランドセントラルステーション化構想（GCS）
- ◆ 公共用地（区役所・図書館などの跡地等）の活用
- ◆ どのような大宮区を目指すのかという基本的な部分を持つ

③大宮区「我が事丸ごと」地域づくり

- ◆ 郷土史を学ぶネットワークづくり
- ◆ 国際化を考えたサイン整備

今後の区民会議の進め方について

次回以降、「埼玉県とさいたま市のまちづくりの現状（GCS、公共用地利用、大宮公園）」について、説明を受けた上で、第8期区民会議のゴールをどのように設定するのか、方向性について話し合うこととなった。

※ 意見の詳細については、別紙参照

区民会議だよりの発行について

10月に発行される区民会議だより（第29号）について、横山副会長より報告があった。

2017 大宮区民ふれあいフェアへの参加について

10月28日（土）に開催される、大宮区区民ふれあいフェアにおける区民会議ブースの手伝いを担当する委員として、池上副会長と田代委員（午前中）、新井委員と大野委員（午後）が選出された。

次回第5回区民会議は、平成29年10月18日（水）午後2時から南館301会議室にて開催予定。



第4回 大宮区区民会議のまとめ



区民会議のテーマについて（第3回会議の振り返り）

①「大宮区ブランド」再発見

- 大宮宿などの歴史的な標識を設置する

歴史は大宮区の財産であり、表示があればそれなりに効果がある。拾い上げれば大宮区には様々な歴史的なトピックが埋まっている。

- 大宮ナポリタンの活用方法を考える

現在は埼玉県産の野菜を1種類以上使用するという事になっているが、もっと特色を出したほうがよいのではないか。（例：埼玉県が生産量日本一である小松菜を活用するなど。）

- さいたま国際芸術祭に区民としてアクションを

さいたまトリエンナーレを変更し、会場を大宮区に集中して2020年に国際芸術祭を行うという計画があり、それに区民として反応してアクションをおこしていく。

②うるおいのある生活基盤整備

- 大宮公園の活用・スタジアム等運動施設の再開発

「大宮公園ランドデザイン」として、公園内のすべての施設を対象に、埼玉県で協議が進められている（大宮公園魅力アップ協議会）。現在は、どの程度のことが可能で優先順位が付けられるのか分からないが、今後県から説明があるため、区民会議にも報告できる。

- 大宮駅グランドセントラルステーション化構想（GCS）

ラクーン8階の「まちラボおおみや」で模型等を利用して説明を受けることができる。今、駅を含めた大宮の整備・まちづくりがスタートしている。区民会議として具体的に話を聞く必要があるのではないか。

- 公共用地（区役所・図書館などの跡地等）の活用

東洋大学の工藤和美先生など、設計担当者やコンサルタントの実務を担っている人の能力が重要になる。

- どのような大宮区を目指すのかという基本的な部分を持つ

「大いなる宮居としての風格ある駅前景観を形成する」（第6期区民会議提案）といった基本的な方針を、市や県も持って様々な施策を進める必要がある。

③大宮区「我が事丸ごと」地域づくり

- 郷土史を学ぶネットワークづくり

地域の歴史を知っている人のネットワークをつくり、子ども達の教育にどのように取り入れていくか検討したい。チャレンジスクールなどでの、各学校の実行委員会等と連携して、地域の人材（高齢者など）を活かしていく仕組みがつくれるとよい。どのようにPRするか。

- 国際化を考えたサイン整備

観光立国として、大宮区の国際的な観光資源の整備。区内のサイン（看板）の内容が外国の方に伝わるかチェックするなど、外国の方の立場に立ったもてなしを検討したい。

区民会議の進め方について

①市と県のまちづくりの現状の把握（GCS、公共用地利用、大宮公園）



②区民会議の方向性の検討（ゴールをどこに設定するか）

第4回会議で挙げた項目について、第5回及び第6回で「埼玉県とさいたま市のまちづくりの現状（GCS、公共用地利用、大宮公園）」について、説明を受けた上で、第8期区民会議のゴールをどのように設定するのか、方向性について話し合うこととなった。（区民会議としての提案を区長等にプレゼンテーションするのか、区民会議委員として情報の発信・共有を進めていくのか、公開講座的なものを開催するか、等）